

【資料 1-2-③】

警報等の発表基準（特別警報を含む）

表 1 特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報発表基準一覧表

※表 1 中の別紙については、気象庁ホームページ「特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報発表基準一覧表（三重県）」を参照。

特別警報	レベル 5 大雨	表面雨量指数基準 ※ 1	レベル 5 大雨特別警報の基準値 (66) 以上となる 1 km 格子がおおむね 30 個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合
		流域雨量指数基準 ※ 2	別紙 1－2 のレベル 5 大雨特別警報の基準値以上となる 1 km 格子がおおむね 20 個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合
	レベル 5 土砂災害	60 分雨量及び 土壌雨量指数基準 ※ 3	別紙 2－1 の基準値以上となる 1 k m 格子がおおむね 10 個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合
	レベル 5 高潮	潮位	レベル 5 高潮特別警報の基準値（潮位 4.1m）に到達することが予想される場合
	暴風	中心気圧 930hPa 以下又は最大風速 50m/s 以上の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合	
	暴風雪	中心気圧 930hPa 以下又は最大風速 50m/s 以上の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
	大雪	府県程度の広がりをもって 50 年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合	
	波浪	中心気圧 930hPa 以下又は最大風速 50m/s 以上の台風や同程度の温帯低気圧により高波になると予想される場合	
危険警報	レベル 4 大雨	流域雨量指数基準	別紙 1－4 の対象河川の格子において別紙 1－2 のレベル 4 大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル 4 土砂災害	60 分雨量及び 土壌雨量指数基準	別紙 2－2 の対象格子においてレベル 4 土砂災害危険警報の基準値に到達することが予想される場合（おおむね 2 時間先までに基準値に到達することが予想される場合に発表）
	レベル 4 高潮	潮位	レベル 4 高潮危険警報の基準値（潮位 3.4m）に到達することが予想される場合（基準値に到達することが予想される場合に、おおむね 6 時間前までに発表）
警報	レベル 3 大雨	表面雨量指数基準	レベル 3 大雨警報の基準値 (33) に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙 1－2 のレベル 3 大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
		複合基準 ※ 4	別紙 1－2 のレベル 3 大雨警報の基準値に到達することが予想される場合

	レベル 3 土砂災害	60 分雨量及び 土壌雨量指数基準	別紙 2－2 のレベル 4 土砂災害危険警報の基準値に 到達することが予想される場合(おおむね 3～6 時間 先に基準値に到達することが予想される場合に発表)	
	レベル 3 高潮	潮位	レベル 4 高潮危険警報の基準値（潮位 3.4m）に到達 することが予想される場合(基準値に到達することが 予想される場合に、おおむね 12 時間前までに発表)	
	暴風	平均風速	陸上	20m/s
			海上	25m/s
	暴風雪	平均風速	陸上	20m/s 雪を伴う
			海上	25m/s 雪を伴う
	大雪	降雪の深さ	12 時間降雪の深さ 20cm	
波浪	有義波高	3.0m		
注意報	レベル 2 大雨	表面雨量指数基準	レベル 2 大雨注意報の基準値（16）に到達することが 予想される場合	
		流域雨量指数基準	別紙 1－2 のレベル 2 大雨注意報の基準値に到達す ることが予想される場合	
		複合基準	別紙 1－2 のレベル 2 大雨注意報の基準値に到達す ることが予想される場合	
	レベル 2 土砂災害	60 分雨量及び土壌 雨量指数基準	別紙 2－3 のレベル 2 土砂災害注意報の基準値に到 達することが予想される場合	
	レベル 2 高潮	潮位	レベル 4 高潮危険警報の基準値（潮位 3.4m）に到達 することが予想される場合(基準値に到達することが 予想される場合に、おおむね 18 時間前までに発表)	
	強風	平均風速	陸上	13m/s
			海上	15m/s
	風雪	平均風速	陸上	13m/s 雪を伴う
			海上	15m/s 雪を伴う
	大雪	降雪の深さ	12 時間降雪の深さ 5cm	
	波浪	有義波高	1.5m	
	融雪	災害との関係が不明瞭であるため具体的な基準を定めていない		
	濃霧	視程	陸上	100m
			海上	500m
	乾燥	最小湿度 30％で、実効湿度 60％		
	なだれ	災害との関係が不明瞭であるため具体的な基準を定めていない		
	低温	冬期：最低気温-5℃以下		
	霜	晩霜期に最低気温 3℃以下		
	着氷・着雪	著しい着氷（雪）が予想される場合		

レベル5 氾濫特別警報・レベル4 氾濫危険警報・レベル3 氾濫警報・レベル2 氾濫注意報の発表対象となる河川予報区のうち、四日市市に關係する河川予報区名及び基準観測所名	鈴鹿川及び鈴鹿川派川【高岡】
--	----------------

- ※1 表面雨量指数：短時間強雨による浸水害のリスクの高まりを把握するための指標。降った雨が地中にしみ込まずに、どれだけ地表面に溜まっているかを指数化したもの。
- ※2 流域雨量指数：河川の上流域に降った雨によって、どれだけ下流の対象地点の洪水災害のリスクが高まるかを把握するための指標。降った雨が、地表面や地中を通して河川に流れ出し、さらに河川に沿って流れ下る量を指数化したもの。
- ※3 土壌雨量指数：大雨による土砂災害発生リスクの高まりを把握するための指標。降った雨が土壌中にどれだけ溜まっているかを指数化したもの。
- ※4 複合基準：河川の湛水型の内水氾濫を対象として流域雨量指数と表面雨量指数の組み合わせにより定めた基準。

表2 津波警報等の発表基準と発表表現

警報名、注意報名	発表基準	発表表現	
		数値での発表	巨大地震の場合の表現
大津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで3 mを超える場合。	10 m超 (10 m < 予想される津波の最大波の高さ)	巨大
		10 m (5 m < 予想される津波の最大波の高さ ≤ 10 m)	
		5 m (3 m < 予想される津波の最大波の高さ ≤ 5 m)	
津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで1 mを超え、3 m以下の場合。	3 m (1 m < 予想される津波の最大波の高さ ≤ 3 m)	高い
津波注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2 m以上、1 m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1 m (0.2 m ≤ 予想される津波の最大波の高さ ≤ 1 m)	(表記しない)

表 3 気象等に関する特別警報の発表基準

発表名称	特別警報の基準		要因
レベル 5 氾濫特別警報	台風や集中豪雨等により河川の氾濫の起こるおそれが著しく大きくなることが予想される場合		雨を要因とする
レベル 5 大雨特別警報	台風や集中豪雨等により浸水害の起こるおそれが著しく大きい降雨量に相当する大雨が予想される場合		
レベル 5 土砂災害特別警報	台風や集中豪雨等により土砂崩れの起こるおそれが著しく大きい降雨量に相当する大雨が予想される場合		
レベル 5 高潮特別警報	台風や温帯低気圧等に伴う海面の異常上昇により浸水害の起こるおそれが著しく大きくなることが予想される場合		海面の異常上昇を要因とする
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合	台風等を要因とする
波浪		高波になると予想される場合	
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合		
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合		雪を要因とする

表 4 50 年に一度の積雪深と既往最深積雪深（四日市）

50 年に一度の積雪深 (cm)	既往最深積雪 (cm)
—	53

- ※ 1 “—” の地点は、データ不足のため、50 年に一度の値が算出できないもの。
- ※ 2 50 年に一度の値は統計値であり、一の位の大小まで厳密に評価する意味は無い。
- ※ 3 特別警報は、府県程度の広がり度 50 年に一度の値となる現象を対象。
個々の地点で 50 年に一度の値となることのみで特別警報となるわけではないことに留意。